

全体会午後の部Ⅱ

司会者 それではただいまより、全体会午後の部Ⅱを行いたいと思います。

司会を担当させていただきます，松茂中学校3年のdです。城ノ内中等教育学校2年のrです。よろしくお願いします。

後半は2本の意見発表となります。まずは後半1本目の意見発表です。松茂中学校3年zさん「自分を語れる世界に」です。よろしくお願いします。



「自分を語れる世界に」

松茂中学校 3年 z

「LGBT」この言葉を聞いたことがあるだろうか。これは、「レズビアン」「ゲイ」「バイセクシュアル」「トランスジェンダー」の英語の頭文字を合わせたものであり、そして近年私たちが解決すべき問題として注目されている。また、LGBTと呼ばれる性的少数者の割合は7.6パーセントと言われている。これは日本の人口の左利きの人やAB型の人割合にもほぼ一致する数字だそうだ。

そこで、自分の周りの人のことを思いだしてみよう。左利きの人やAB型の人、何人いるだろう。私の周りには何人もいる。つまり、私たちの周りには、同じくらいの割合で、性的少数者がいるということになる。しかし、私たちは気づいていない。理由はただ一つ。性的少数者が「カミングアウト」していない

からだ。では、なぜ「カミングアウト」しないのか。それをすれば、このような問題になることも少ないだろう。でも、その考えは間違っている。カミングアウトしないのではなく、できないのだ。それは、周りの環境が深く関わってくる。

私は小学生の頃、テレビが好きでよく見ていた。大きくなるにつれ、特にバラエティ番組を見るようになっていった。ある日、テレビを見てみると、ゲストにゲイの人が出演していた。そして、その人はトークで「男が好きだ」と発言していた。私はこのとき、「えっ、男の人が男の人を好きになるとか、気持ち悪い」と思った。また別の日、家族と買い物に出かけると、明らかに女の人がはくスカートが男の人がはいて歩いているのを見た。その時も私は、「こんな町中で恥ずかしくないのかな」と、疑問に思った。それが私の性的少数者に対する第一印象だった。

しかし、中学校に進学し、道徳の授業でLGBTについての学習をした。授業では、性的少数者を題材とした映像を見たり、資料を読んだりしてLGBTについて深く学んでいった。最後に先生が「性的少数者は、今ではごく当たり前になっています。避ける、差別するは、あってはならない。社会全体で受け入れていかななくてはけません。」と言った。その瞬間、私はハッとした。私が感じていた「気持ち悪い」や「おかしい」という考えは、性的少数者からすれば差別的な考えだったのだ。世の中には様々な人がいるのに、自分みたいに異性のことが好きになり、自分の性を受け入れている人ばかりと思っていた私は、自分が気づかないうちに差別的な考えをしていたのだ。それだけでなく、もしかすると、もうすでに性的少数者に対し、差別的な発言をしているかもしれない。そう思うと胸が苦しくなり、テレビで見た男の人に申し訳ないと思った。

しかし、先程も話したように、性的少数者

がカミングアウトできないのは、以前の私のような印象をもつ人が多いからだ。性的少数者も気持ちよく生活できる社会を実現するには、同性を好きになることや自分の性に違和感をもつ人に対して、「気持ち悪い」という考え方をなくしていくことが大切だと私は思う。そのためには、まず、LGBTについての知識をもっと正しく知っていかなければならない。今の社会が性的少数者も受け入れられるような社会になれば、きっと「恥ずかしい」という考えがなくなり、気軽に話せる日が来ると思う。



周りの環境というものは、ものすごく心に圧力かける。その影響で、言いたいことが言えなかったり、自分の意見が流されたりしてしまうことはたくさんある。でも私は、周りが性的少数者に対して、差別的な目で見ていたとしても、周りの環境に押しつぶされず、勇気を出してカミングアウトしてくれた性的少数者を否定せず、相談にのってあげられるような人間になっていきたいと思う。私たち中学生は、みんなそれぞれ違いがあることは理解しているが、LGBTは、その違いが大きく目立ってしまっているだけになかなか受け入れることが難しい。しかし、人が人として生きていく権利、人権という言葉の意味や重さに、一人一人が責任をもって行動していく時が来ていると思う。

すべての人間が、気持ちよく暮らせる社会を目ざしていくために。

ご清聴ありがとうございました。

司会者 ありがとうございました。どうぞ元の席に戻ってください。

続いて後半2本目の意見発表です。八万中学校2年gさん「たくさんの人が生きやすい世界へ」です。よろしくお願いします。

「たくさんの人が生きやすい世界へ」

八万中学校 2年 g

今、自分には悩みがあります。それは、これからも生きていく上での「自分の性別」についてです。今は、女として生きているけれど、一人称を「私」と言うことで、もやもやしてしまう自分がいます。自分は、「女だけど、女として生きたくない、かといって男と言われるとそうでもない」という、とても曖昧な考えで今は落ち着いてしまっています。

例えば、自分が一人称を「僕」と言うと、少し表情がくもる人がいます。それが、どうしても苦しいです。そして、自分が思う限り、制服を決めきってしまうのは、自分にとって、または同じことを思っている人がいるとして、その人も、もやもやしてしまうのではないのか、と思っています。少なくとも自分は強く思っています。

ここから少し話題を変えます。みなさんは、「井出上漠」さんを知っていますか。漠さんは、もともと男性として生まれてきましたが、今は女性として生きています。自分には、漠さんがキラキラと輝いて見えました。

とある番組に漠さんが出たことがありました。先程自分が思っていた「学校の制服」についてですが、漠さんの学校の制服は、性別を問わず、男性でも女性でも、またはどちらでもなくても、好きな制服を着ることができるといいうものでした。自分はすごくいいなと思いますし、取り入れることで、とても過ごしやすい学校生活を送ることができそうだと思います。

自分の友達に、漠さんと同じような子がいます。その子が、「性別について悩んでいる」という内容で、相談をしてくれました。正直、励ますことができたのかは分かりませんが、メッセージを読んでいくにつれて、涙が止まりませんでした。どうして気づいてあげられなかったんだろうと、自分を責めました。自分も、その子も、この世界で生きていくのは、少し苦痛があります。断言していいのかは分かりませんが……。



だからこそネットでは、自分を出して、一人称を「僕」や、「俺」にしています。少しでも、自分を出すともやもやしているものが晴れます。いつまでこうやって生きていくのか少し不安に思いつつ、これが最善だと思って、今を生きています。

自分にとって、この世界は、男でも女でもない人に対して、少し過ぎづらいのかなと思います。初めに自分が思った制服に関しては、特にそうじゃないのかなと思っています。過ぎにくい、もっと言えば生きにくい、と思っている人も、少なからずいると思っています。制服にいたっては、ただのワガママですが、自分、いや僕みたいに、なにか悩みがあって、僕は、私は、俺はこう思うという意見を聴いてみたいです。

少なくとも今は、僕にとっては生きづらくて、結構な頻度で苦しく、辛くなります。僕も行動をして、少しでも誰かが生きやすくなれるように努力をしていきたいです。

一人じゃないから。大丈夫だから。僕がついてるから。少しでも頼ってくれたら嬉しいです。役に立てるかは僕自身は分からないけど、少しでも前に進めるように、特定の人のみならず、みんながすごしやすく、生きやすく、これからの人生が楽しくなるように、自分自身に胸を張れるようなお手伝いのできたらいいなと思います。

いつか、たくさんの人が生きやすい世界になればいいなと心から思っています。たくさんの人が笑って生きられるように、活動していきたいです。

その人にはその人なりの個性があって、僕にも僕なりの個性があります。人それぞれの個性を尊重できるような、たくさんの人が生きやすいような世界になればいいなと、強く心から思っています。

ご清聴ありがとうございました。

司会者 ありがとうございました。どうぞ元の席に戻ってください。

それではこれから、意見発表を通しての討議にうつりたいと思います。発表についての感想や意見交換、参会者のみなさんの思いを語っていただければと思います。また前半で発言しきれていない人や付け加えるような内容のある人は、これが最後のチャンスとなりますのでぜひ発表してください。

また、マイク係として、松茂中学校1年sさん、松茂中学校2年tさんの2人がフロア



をまわります。なお記録の関係上、発表する人は学校名、学年、名前を言ってから発表してください。それではよろしくお願ひします。

松茂中学校 1年 n あっ、ちょっと質問したいことがあるんですけど。gさんの。昔から思っていたんですけど、僕は、なんでそんなに自分に制限というか、それをかけるのかなって疑問に思っていたんですけど、それはどうしてなのか、ちょっといけますか。

八万中学校 2年 g 自分に制限をかけるって、自分がこれを言うことで、その人に引かれる、嫌われるのが恐くてっていう意味で、自分の言いたいことを抑制しています。



松茂中学校 3年 a gさんの作文で、制服の話が出たと思うんですけど、いま大半の高校で、ズボンとスカートのどちらからでも選べる制度が広まっていると思うんですけど、自分の性について悩みはじめるのってほしい中学



生くらいなんかなと私は思っているの、高校だけじゃなくて中学校でもズボンとスカートを選べる制度があればいいのになって思いました。

大麻中学校 3年 m gさんの作文の意見を聞いて、正直自分の中でも、男子に生まれたかったなって思うときがあつて。それって人前でそうやって言えるのがすごく格好いいなって思つて。テレビとかドラマとかでも、ときどきそういうのを取り上げているのを見かけるので、共通の人が分かってもらえるような伝え方で、そういう考え方を広められたらなと思ひました。



松茂中学校 3年 d 先ほどのzさんのカミングアウトしないじゃなくて、できないと言われてたんですけども、自分もLGBTのことでカミングアウトしたことがあるんですよ。その友達は、あまりいいように、本気にしてなくて、冗談だろうとふざけて笑つて、何かの話に流そうとしている雰囲気があつて。それが中2か。中2の中盤で、そこからまるで自分のなんか、心臓がえぐりとられたみたいな感じで。そつから言い出すのも怖くて、ろくに自分からは何も言えなくなつてしまつて。自分の親はそういう性のあり方とかそういうのに寛容なんで、自分の生き方を肯定して、受け入れてはくれてるんですけど。やっぱり学校とかでは、そういうLGBTとかにいいイメー

ジを持ってない人がいるという環境が、自分にとっては、生きづらくて。zさんの作品なんか、周りの人にも聞いて欲しい、理解して欲しいような内容でした。



八万中学校2年 f gさんの作文で、制服の話が出てきてたんですけど、前に新聞で制服はスカートかズボンとかを選べる、みたいな記事があって。その時は他人事みたいな感じでとらえて、そんなんもあるんやなみたいな。そんな制度もあるんやなぐらいやったんですけど、制度を受けたい人とかにしてみれば、けっこう大事な話だったのかなって。さっきgさんに質問で、なんで自分を縛ってしまうみたいな、制御してしまうみたいなんで、周りの人にも思われるんとかが嫌って言うてたんですけど。私は、女の子を好きになるっていうのはなかったんですけど、男の子もあんまり好きっていうのが分らなくて。友達とかと話をしていたら、ちょっとズレてるなと自分が考えとんと。そう感じて、それを友達に言ったことがあるんですけど、そのときぐらいから女子が恋バナをし始めてる時期だった、それに参加できない、参加できなかったのて話に入らせてもらえなくなってしまって、そのことがあってから、中学とかで新しい友達ができるときに「なあ、好きな子おる？」と聞かれたときに、なかなか答えられなくて。もうそれで、そういうカミングアウトできない状況っていうのが結構まだあると

思うので、せめて私だけでもきちんと考えて行動したいなって思いました。



八万中学校2年 g みなさんに聞きたいんですけど、学校の出席番号ってあるじゃないですか。あれって男子と女子混合ですか。混合のところ手を挙げてもらえますか。男子と女子わかかれてるところありますか。ありがとうございます。八万も男子と女子わかれてて、こちら辺で作文を書いて、読んでるときに思っ。小学校が男女混合だったんですけど、そこらへんも含めて古いなあと思ったことがあるんですよ。男子と女子にわけるっていうのは、生徒の中でも結構苦しいんで、改善できるような行動をしていきたいなと思っています。以上です。



吉野中学校3年 I 僕は最近ニュースを見ていて、北海道の方で同性同士の婚姻届が受理されなくて裁判が起きたって聞いたんですけど、それについて僕は、なんで裁判沙汰にな

るようになったのかなと思って、公民の授業で国連が新しく決めたSDGsっていう目標の項目の中に性的な差別をなくすみたいな項目があって、それに対して僕が思ったことは、性的な差別っていうのはどういうことなのかと思ったんですけど、お二人の作文を聞いて、性的な差別っていうものは、周りにいる人たちも気づけない、自分でしか、自分で抱えるしか方法がないって言ったらあれですけど、周りにも打ち明けられないし、周りにも敬遠されたりするみたいな、とても苦しいことなんだなと思ったんですけど、gさんは、それを作文にしてそれを前で堂々と言っていて、とても格好いいなと思いました。



大麻中学校3年 m カミングアウトをしようと言った人の話を聞いたんですけど、多分自分もそやって打ち明けてくれたことには、感謝するけど、そのときはもしかしたら「えっー」ってなるのかなって、正直思ってしまった。ただ今こういうのが進んでいるってことを自覚して、ちゃんと向き合っ



いかないといけない、支えていかないといけないということを、自分も周りも思って行動したいなと思いました。

瀬戸中学校2年 u 自分は、男の子が男の子を好きになるったりするのって性癖だと思うんですよ。例えば、みんな、高身長が好きとか、ショートカットが好きって言っているのと一緒に思うので、もっとLGBTを当たり前に受け入れられるものにしていきたいと思いました。



松茂中学校3年 b 2人ともLGBTのことについて話してくれたんですけど、カミングアウトできないっていうのは、やっぱり環境が関わってくるんだなと私は思いました。たくさんの方がやっぱりそういうのを受け入れられなかったら、周りもそうなるんじゃないかなと思いました。まずは、一人ひとりがそういう当たり前のよう意識を高くしてい



く必要があるんじゃないかなと思いました。

城ノ内中等教育学校 2年 r 制服の話が出たと思うんですけど、城ノ内中等教育学校はだいたい高校と一緒に考えられることがあるので、中学校でもズボンをはくことができ、私も一応ズボンはもっています。それは、お姉ちゃんがズボンを最初に中学校ではいて、それに影響を受けて、私もズボンをはき始めたんですけど、普通に私は、LGBTとかじゃなくて、ただズボンを履くのが好きだし、女子は分ると思うんですけども、冬はスカートって寒いので、そういう防寒対策でも履き始めたんですけども。履き始めたときもやっぱり何人か「えっ」って言われたんですけど、ほとんどの人は何もなくて「別に」って感じで逆に「えっ、何も言ってくれんの」みたいな感じだったんですけども。次の日から何人かズボンを履いてきてくれて。お兄ちゃんのもらったとか、今、まだ少ないんですけど、学年でズボンを履いてるのが5人くらいいて。zさんが言っていたように周りの環境は結構影響すると思うんで、そういうのを城ノ内からでもどんどんそういう考え方が広まっていけばいいかなと思いました。



松茂中学校 3年 d 先ほどのzさんの意見から、男同士で付き合っているのが気持ち悪いと思ってしまったという意見がありました。自分も嫌悪感誰にでもあってもよって言った

んですけど、もし仮に自分のもっている意見と相手のもっている意見が異なった場合は、その時はどのように付き合っていけばいいと思いますか？質問です。



藍住中学校 1年 i 自分と違った考え方で、例えばどういうことですか？

松茂中学校 3年 d さっき言っていた、例えば男同士で恋愛ができる人がいたとすると、自分はいいとしていても周りから見たらそれが受け入れられない、気持ち悪いよと言ってくる人がいたとするじゃないですか。男が好きだから、男同士で恋愛ができるから、その人もダメとするんじゃないかって、違う意見を持ってても、違う意見があったとしても、どうにかして共存するには、受け入れられるには、どういうことをしたらいいのか。

藍住中学校 1年 i ちょっと頭が混乱しているので…。



八万中学校3年 v 何か、すごく難しく考えている方が多いんですけど、話し合えばいいんじゃないですか。(班に分けて話し合いをするとか?) お互い考え方が違うかった場合どうやってすればいいかっていうことですよ。話し合う時間をとるとか。それぞれ考え方も違うだろうし、生まれも育ちも全然違うので、考えが二人とも違うだろうし。話し合っただけで、ああこの人はこう思うんだなって、話し合うことで理解し合えばいいんじゃないかなど。



松茂中学校3年 d さっき話し合えばいいんじゃないかという答えを言ってくれたんですけど、メチャクチャ簡単に言うとそれで良いんですよ。話し合っただけで、話し合っただけで理解できるのであれば、話し合ったらすぐに解決できると思うんですよ。でも仮にカミングアウトして受け入れられない場合もあるじゃないですか。そういう場合どうするのって一つずつ考えると、正直言ってこの質問、答えがないんですよ。無限ループなんですよ。さっきちょっと考えてみたら、一個答え出して、どんどん掘り下げていくといくらでも答え出てくるんですよ。明確なこれっていう答えがないので、この質問はメチャクチャです。この質問はいったん切らせていただきます。

藍住中学校1年 i 私、小学校のころ、先生と話がかみ合わなかったり、嫌だなって思った人から一旦離れたりしたんですけど。話がかみ合わなかった。LGBT嫌だなって思う人と出会ったときには、いったん離れて自分の考えを掘り下げていって、他の考えの同じ人と話し合ったりして、LGBTの女の人の方が女の人を好き、男の人が女の人を好き、それも平等に考えれば、普通って考えれば、好き嫌いが…。それで認め合おうと、やっぱり話し合った方が良いです。



瀬戸中学校2年 w 少し話が変わるんですけど、性についてのカミングアウトをするかしないかは、その人次第だとボクは思います。でもカミングアウトがしやすい社会だと、どちらの人も過ごしやすいから、僕はカミングアウトをしやすい社会をつかっていこうと思いました。



大麻中学校3年 m 仲の良い男性友達の中に、小学校の時は男の人が好きだったっていう話を1回聞いたことがあって。今、その子は、もう友達同士で普通にさらけ出して言ってるんですけど。その時は自分は、「えー、そうなんや」って軽く受け止めていて。ただ周りはやっぱ、「えっ、キモ」とか批判するような声がやっぱ男子の中ではよくあって。それで親とかと話しよって、親とかも最初は「えっ」という声がある。後々考えると、それは個人の自由であって自由だから、こっちが深く考えることではないのかなと思いました。



松茂中学校2年 t さっき先生とカミングアウトってどんな感じかなっていうのを話してたんですけど。私が思うカミングアウトは、自分はこんな人だよっていう自己紹介っていうか、全部をさらけ出すみたいなもんなのかなと思いました。あと、テレビで見たことなんですけど、ある男の人が、自分は男性だけどカワイイものに憧れて、女性になりたいっていうテレビを見たんですけど。私はその時はLGBTのこととかあんまり知らなかったんで、その人を見て初めに思ったことは、なんか気持ち悪いなって思って。最近よくTVとかでLGBTのことに関して言われていて、その時に自分が間違った考え方をしていたんだなと思って。自分の個人的な考え方ではLGBTの人たちに対して、気持ち悪いなと思うより、こういう人がいるんだって、受け入れる人が

ベストなのかなと思いました。



八万中教員 吉成 こちら辺でしゃべっていたことは、カミングアウトしやすい社会って、どんな社会なんやろなっていうことについて、カミングアウトしやすい社会について話をしていて。結構言いにくいとかって、gさんが言ったやん。なんて言ってたっけ？抑圧でないわ、何やったっけ。言いにくいみたいなことを言ってたやん。どう思われるか分からんからって。女の子あるあるかもしれないけど、周りが恋バナしてるから、恋バナにのっからなきゃいけないみたいな。のっからなきゃこの集団から排除されてしまうみたいな。だろ。女の子あるあるで、それあることない？なんか恋バナしてたら、その恋バナにのっからなきゃいけないみたいな、別に興味も関心も、男にまったくくないのにみたいな。でも、のっからなきゃいけないみたいな、そういう雰囲気ってあるように思うのよ。LGBTに限らず、今、この話にのっからないと、のけ者にされるみたいな。のけ者にされるとどうしたらいいかな。いじめの対象になったりとか、のけ者にされたりとか、そういう雰囲気みたいなものがあることに対する危機感というか恐怖感みたいなものがみんなの中にすでにあるんちゃうのかなと思うのよ。小学生くらいするとき、もしかしたら、もっと幼いときから。だけど、人権学習していく中で「そんなん別にいいやん、人は人、自分は自分、みたいに

思っと思ったらいいやん」みたいなことを人権学習の中で勉強していくと思うのよ。だけどその一方で、みんなの生活の周りの雰囲気みたいなものもあるということよな、実際は。だから、もっと人権学習していったらいいんじゃないのって個人的には思うのよ。足りない



って話。人権学習が。そんな気がする。人権学習が足りんのじゃないの、人権意識がまだまだ低いんじゃないの日本人みたいな。もっと人権意識が高まっていくために今回のオリンピックもそうやけど。日本人の人権意識が高まっていくためには、もっと人権学習していく必要があるんじゃないの日本人、みたいなことをもっておかないといけないんじゃないかと思います。その人権学習の中身の一つとして、例えばさっきスカートの話とか混合名簿の話とか出てたけど、じゃあそれをクリアするために、どういう行動とか、活動とかに発展させていくんかっていう、そこも人権学習の大事な肝なのよ、本当は。それを活動から発展して運動にしていったりとか、運動していくためには仲間が絶対に必要だから、同じ意見をもつ仲間をつくらないかんから、それをいったいどこにもっていくんか、担任の先生なのか、ヤイヤイ言うだけなんか、校長先生にもっていくんか、教育委員会なのか、どういうふうに活動や運動を発展させていくんかっていうことも考えなきゃいけないし、それも正しく人権学習やと思うんよ。そういう見方で、もっと学んでいったらみんな得られるもんがいっぱいあるんやけどなって、そ

んな気がしながら聞いていました。ぜひある思いは、みんなの中にある思いは、結実させてほしいかなって気がします。以上です。

OB q シンプルに考えましょう。あらゆる人権問題において、話し合っていて共通してるものはなんなんやろなって考えたんやけど、例えば男やけんとか女やけんとか、A型やけんとかO型やけんとか、部落やけんとか、ほの何々やけんの、標準語でいうたら何々だからかな。そこって何？誰が決めたん？どういふこと？を考えていくことがほんまにいろんなことを、問題を考える中で自問自答していくことで、昔やったらほんま、男と女で二極に別れてるんで、これは差別なんかこれは区別なんかかっていうことを、それをごっつい簡単に言よんやけど、それを自問自答してもって、昔は男の子、女の子の二極化だったけど、これを考えよったら、体は男やけど心は女の子の気持ちっていうのが今出てきたりとか、昔は差別やったんかなとか。今は区別に入るかなとか。いろんなことが自分の生活の中の何々やけんの「けん」を考えていくことによって解放されていくというか。人権っていうのは自分を間違った意識から解放されていくことが、僕らは解放運動っていうんやけど、人権のことについて考えていくことやと思うんよ。人権て人が生きていく中で様々な権利っていうことやと思うんよ。いろんな権利を



尊重もって生きていかなあかんと思うし、今、自分の中でこうしていかなあかんのちゃ

うかなって思うことは、ほんまに難しいことなんやけど、教育の中でやっぱり道徳とかでもないんやけど、人権教育を義務教育のなかにもっと盛り込んでいかないかんと思うんよ。今だったらなんて言うん？今この集会が続いとうことって、ごっついことなんよな。当たり前じゃない。誰かが立ち上がってきて今までつながってきとるんよな。社会は今そんな社会じゃないから、ほんまに厳しい中で、先生方が立ち上がって、みんなを連れてきて、この場を作つとうと思う。こういう場を経験した僕らが大人になって思い返したときに、専門的に差別の仕組みとか勉強したわけではなかったも、差別をしたらあかんって心の中に今までOB, OGの子やも持ってると思うし、自分の子どもができたときに差別したらあかんよ、イジメたらあかんよって伝えてこれとうと思う。でも今、これはなんか、簡単に言うたら良いことしようみたいな感じになつとうけど、これを当たり前にもっていけたら、ほんまに必然的に差別やいじめのない世界っていうんはつくれていけるとちゃうんかなって思うんよ。

もう一つシンプルな話で、今、現実的に守られとうっていうか、ギリギリ守つとうことで、日本は戦争せんでなつとうで。これなんだから歴史を振り返って、勝った負けたとちゃうよ。戦争ってそういう問題じゃないんで、戦争はあかんっていうことを子どもときから教育してきとうけん、今現実に戦争せんと、戦争したらあかんって意識がみんなの中で守れとうと思わん？これ教育の中に入つとうけん、みんながあかんてなって、戦争が起きてないし、起こさんように、みんなしとうないで、そなん。これが多分ほんまに今の中で、もっと先は分らんけど、試されとうことって思うよ。過去は変えられんけど、未来はなんぼでも変えていくことはできるけん。ほんまに今日はごっつい勉強させてもうたし、貴重な時間もとらせてもろうて悪いん

やけど、今こうやってがんばって、まだ続いとんやなって、まだ、中学生集会続いとうわって、もう25年くらいになると思うんやけど40歳になってこやって参加させてもらうって、現実に言うたら、全然差別やいじめもなくなつてないけん。自分も40歳になつても勉強しよることを子どもに伝えていきたいなと思って、参加させてもらってます。では一曲、「解～放～の～」、知らんはな、はいすんません。ありがとうございました。

大麻中学校 3年 k 好きなことを好きってはっきりと言えたり、言いたいことを周りに気軽に伝えたりするのが人権で、人それぞれ価値観は違うと思うので、そういう価値観を認めていけるようになっていきたいと思いました。



松茂中学校 3年 x 前に道徳の授業で「めがねと補聴器」っていうのをやったんですけど、眼鏡は全然不自然じゃないけど、補聴器ってちょっと不自然に僕は思ったんですよ。それって、身近にないから不自然に思うんですよ。ていうことは、差別なども自分の身近なこととして捉えることがきちんとできていれば、差別なんて起こることはないと思うんですよ。ボクは、身近に感じるためにも、人権学習とか増やして、きちんとした考え方をもちることが大切だと思いました。



OG ○ この作文の議題に関して、すごい言いたいことがいっぱいあって、こういう話になる度、たぶん毎年いっぱい言よんですよ。平野先生に4時までには我慢してって言われて、4時過ぎて発表が少なくなったら発表してもいいよって言われて、後ろでこーやって思うんですよ、あーって思うんですよっていろいろ言ってたんですけど、いざ4時過ぎたら言いたいことがまとまらなくなって、こうっていうのは言えないんですけど、すごい極端でシンプルな話にはなるんですけど、性の多様性っていうのに関して、私が思うのが、偏見とかそういうのは抜きに友達とかとつき合ってたて、この人って何が好きでとか、これが好きでとか、その人が普段どんな格好してるとか、そういうのってあんま気にならないですか？その人自身とつきあっているから、それ以上でもそれ以下でもなく、その人が何を持っかって何しよってとか、それが差別の原因というか、それになることってあんまないと思うんですよ。言葉がまとまらないんですけど。私の友人たちとか、私この卒業生なんですけど、ここの中学生集会を出て、私は中高生集会っていうところでも中学生時代、高校生時代活動してて、そこでこの性の多様性に関してっていうことに2年くらい、たぶん現役のときに勉強してたんですけど。なんやかんやいろんな差別があって、いろんな人がおって、みたいな勉強はずっとしてたんですけど、結局、結論として、自分たちの

中で自分のつき合っている友達とか、みんなその人自身を見てたら、その人の性別とかその人がどういう人を好きになるとか、そういうのってあんま気にならないんですよ。これがなんかいろんな差別における結論っていうか最終的に行き着く場所になっちゃうと思うんです。いろんな過程を踏んでみんながそこに辿り着けて行くってのが、こういう活動のめざすところだと思うから、あんまり言うのはよろしくないのかなと思うんですけど。



私のきょうだい、私、三人きょうだいなんですけど、きょうだいでも性の話に関してはよくしてたんですよ。差別問題とかってあんま話をする事ってなかったんですけど、私のきょうだいでも自分はどういう性が好きとか、自分はどういう性でありたい、どういうふうでありたいみたいな話をよく？たまにしてて。自分はXジェンダーだとか、自分はバイセクシャルだとかっていうのを議論をして。それってこうなんじゃない？あーなんじゃない？みたいなことをよく話してたんですよ。身近で歳が近いっていうのもあるし、性の問題っていうのは、自分たちのなかでよく分らんけど身近な問題、自分のことだから一番どの年代だったとしても関係のあることで、よくそういう話をしてたんですけど。その人自身とつき合ってたたら、後付けの情報になってくると思うんですよ。性別とかって。誰々と仲良いよな、誰々って男なんだろう女なんだろうって。あーそういえばそうだったなっ

て。別にこいつ男やからつき合いよるとか、女やからつき合いよるって、そこに別に縛られてつき合いよらんのかな。別にあいつが男やけん？女だったとしたら何？あいつはあいつやっていうふうに、私は結構思うんですよね。性別にとられることってあるんかなって。元も子もないじゃないんですけど、議論の根元を掘って持ち去っていつているように思うんですけど、でもそんなふうに私は思います。みなさんはどう思いますか？もし良かったら意見をもらえたら嬉しいです。以上です。

城西高校2年 y 中高生集会の中部ブックの生徒部会会長を今しています。自分の性別でいうなら、X寄りのQかな、みたいな感じですが。でも、いつも自分はこんな感じで、自己紹介がてらにこんなことを言うんですけど、別にそんな深く考えて言うことでもないんじゃないかな。逆にそれ聞いて「えっ」て思うんだったら、「あっそうですか」で終わるくらいだと思っとう。自分がこんなんやけんカミングアウトしてどうこう言われたっていうことはないんですけど。さっき言ったことと少しつながると思う。同じようなことなんですけど、カミングアウトしやすい社会とってはってところも。好きな性別とかって、さっき言ったように、性別にとられるようなことではないんじゃないかなって思うんですよ。例えば、自分は年上が好きってずっと言っています。友達に言ってました。今回は年下の人を好きになりました。「あっそうなん、よかったね」みたいな感じで、そんな適当な感じで終わると思うんですけど、ほれと同じ感じで、好きなタイプが変わるとかじゃないけど、身長の高い人が好きっていうんと自分は男やけど男の人好きかなあ、そんなこともあるんかなあってことも、同じような感じじゃないんかなって思うんですよね。自分をシスジェンダーですって思っているけど、自分と

同性の人を好きになったことがないだけでっていう。あの人(○)のいつも言いよる、大抵の人が全員パンセクシャルちゃうんかっていうことを言ったときがあつて。その考え結構好きで。まだ初恋もしたことない人からしたら、その状態だったらアセクシャルなんみたいな感じになると思うけど、ただ好きな人がまだできたことがないだけ、まだ今まで異性を好きになってきただけっていうだけで、別に経験したことがないから、もうそういう人たちのことちょっと分らないっていうのが多いだけで、別にそういうんじゃないんじゃないかなって思ってます。



あと、そこまで性別にとられることでもないんじゃないかなと思うし、そういうことこそ、義務教育とか小学校の頃から、「別にこれ常識ですよ」みたいな感じで言ったら、今を生きとる人たちからしたら、「うん？何なに？」という感じになると思うけど、そういうのも浸透していくんじゃないかなと思っています。

あと、何だったっけ。そうだ。制服だ。ちょっと前行きます。今自分、ズボンを履いてるんですけど、今これでパッと見て男に見えますか女に見えますか。性別何に見えますかっていっても、別にこれって見た目で判断しようだけでない？って思うときもあるし。あとは自分、親と出かけとったりして、「あっ息子さん？」って言われるときもあるし、「娘さん？」って言われることもあるんやけど、別にそんな見目で勝手に判断されても、あーそうなんじゃって、第一印象がそうでした

ってだけで終わると思うし。自分、もともと進路迷ってって高校に入学するときに。最終的に、「あっめんどくさ」ってなって。ズボンがある制服、制服にズボンがある高校を選んだんですよ。それで城西高校に行ったんですけども。それでしばらく過ごして思ったことがあって。制服って選ぶときに、スカート、



女子用ズボン、男子用ズボンっていう分け方になってるんですね。別に自分は「まあズボンだったらいいな」「スカートじゃなかったらいいよ」って思っと思って。小学校、中学校ずっとセーラー服でスカート履いてたんですけども。今も結構、先生とかいろんな人にも訴えかけよんですけど、なんで女子用と男子用で分けるんだろうなって思って。だって別に、確かにそれこそ今、なんかゴチャゴチャ言われよるように、じゃあ男がスカート履いてもええんかみたいな。それでイザコザになっとなったりするんですけども。別に男子用女子用分けんでも、スラックス、ズボン、スカートとか、それより種類を増やしてもいいと思うんですよ。中央(高校)だったかな、みたいに、さっき後ろでも話したんですけども、制服を絶対に着てきなさいとか、ほんなんじゃなくて、制服も一応ありますよ。スカートでもズボンでも好きな履いて下さいね。好きな着てくださいね。別に私服で来てでもいいですよ。でもちゃんとした式とかのときは、まあ正装で来てくださいねって感じにしたらいいなじゃないかなって個人的に

は思っと思んですけど。まあそんな感じで男と女っていう考え方が徐々になくなっていったらいいんじゃないか、ただ1つの情報というか、なんかそういう感じでなくなっていったらいいんじゃないかなって思いました。勝手に前に出てすいませんでした。以上です。

司会者 ありがとうございました。最後に何かありませんか。なければこれで終了します。このあたりで、午後の部Ⅱを終了したいと思います。みなさんご協力ありがとうございました。有意義な話し合いができたと思います。今日の話し合いをきっかけに、人権問題をさらに深く考えて、各学校に持ち帰ってください。

それでは全体会を閉じることにします。ありがとうございました。

それではこのあと引き続いて、閉会行事に移らせていただきたいと思いますので、準備ができるまでの間、しばらくお待ちください。

